

プログラミングで遊ぼう～小学生ものづくり教室の開催～

熊本県立小川工業高等学校 情報電子科

8月2日、小川工業高校情報電子科とマイコン制御部の生徒が指導者となり、宇城市立河江小学校の6年生12人の子どもたちが、ロボットカー制作を体験しました。ものづくり教室は、今年で5年目を迎え、本校の地域貢献活動の一つになっています。



ロボットカー制作

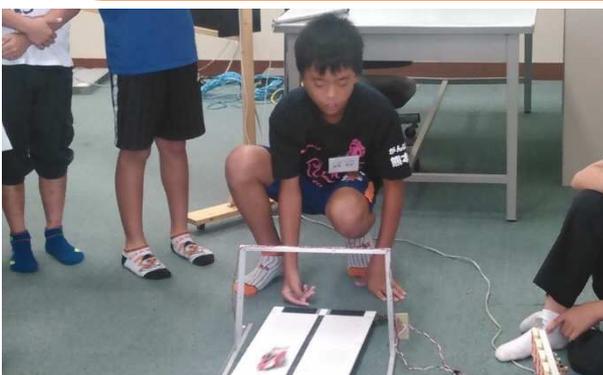
2020年から小学校では、プログラミング教育が必修化されることを考慮し、ビジュアルプログラミングが可能な「スクラッチ」というソフト、及びマイコンで制御可能なロボットカーを教材として、プログラムの作成をしました。最後に、各自でプログラミングしたロボットカーでレースを行い、小学生と高校生が協力しながら、何度も繰り返しプログラムの調整していました。

【結果】

- ・本校生徒はこれまで授業で学び、積み上げた技術を活かすと共に、小学生にわかりやすく伝える工夫や努力をしていました。
- ・小学生は目を輝かせながら意欲的にプログラミングを行っていました。
- ・ものづくり教室後のアンケート結果では、小学生から、「プログラミングに興味を持った」、「高校生が優しく教えてくれた」、「とてもいい経験になった」などの意見が出されており、目的を達成することができました。



プログラムの作成



ロボットカーレースの様子



ロボットカーレースの様子